



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

愛知県支部

広報誌

日赤あいち

No.
135
2018.夏



子どもの笑顔を守る活動を 続けています

- 平成29年度決算概要
- 幼児安全法講習
- 赤十字運動月間キャンペーン2018
- バースセンター5周年
- 外国人向け講習テキスト

子どもの
笑顔を
みんなで
守ろう



蟹江町赤十字奉仕団

津島市赤十字奉仕団

赤十字奉仕団
ボランティア
リレー

ボランティアとして
活躍する奉仕団が
リレー方式で登場

今号の奉仕団 津島市赤十字奉仕団

委員長 原田麗子



上/体験イベントで
津島市長と記念撮
影する団員たち
下/子どもも楽し
みながら防災を学
んでくれました



防災・減災都市を目指す津島市
では、小学校区ごとに自主防災会
が立ち上げられています。奉仕団
は、その自主防災会と手をつない
で、防災訓練や講演会、勉強会など
を一緒にしています。

小学校区ごとの
自主防災会と協同して活動

こんな活動をしています

体験イベントで
楽しい防災体験を提供

イチオシポイント

市教育委員会の主催で毎年行わ
れている「つしまおやこワーク体
験活動フェスティバル」には、多く
の高校が出席します。奉仕団も毎
年参加しています。この催しは、近
い将来起こりうる災害に備えて身
を守る方法を、地域の皆さんに覚
えていただくチャンス。一緒に楽し
く交流をしながら、体験を交えて
学んでいただく、良い機会となっ
ています。

今年度は「アルファ米（乾燥米
飯）、ハイゼックス（炊飯袋を使っ
た非常食の作り方）」「風
呂敷を使ってリュック
をつくる」「いえま
ですくろく」の3つのプ
リで体験していただき
ました。

500人を超える参
加者で、ハートちゃん
も人気でした。今後も頑
張っていきます。

名古屋学芸大学青年赤十字奉仕団

日進市赤十字奉仕団

岡崎市赤十字奉仕団



活動資金

ご協力ありがとうございます

日本赤十字社愛知県支部へ活動資金として多額のご寄付をいただいた法人様

- 株式会社不二機販様
- 株式会社ミニミニグループ様
- 三協化成産業株式会社様
- 江口光株式会社様
- 株式会社メディアボックス様

赤十字事業は、皆さまからの活動資金の
ご協力によって支えられています。

郵便振替口座/00860-1-732 日本赤十字社愛知県支部

郵便局備え付けの払込取扱票でお手続きください。ご不明な点は
日本赤十字社愛知県支部事務局 企画振興部赤十字会員課まで。

TEL 052-971-1596 (直通)

ご協力
をお願い
します



PRESENT プレゼント

クロス防災グッズ
8点セット
10名様に

最低限コレがあれば、の
非常持ち出し袋。

応募先

MAIL aichi-koho@aichi.jrc.or.jp

FAX 052-971-1590

郵送 〒461-8561 名古屋市東区白壁
1-50 日本赤十字社愛知県支部
「日赤あいちプレゼント」係

【明記事項】

①お名前 ②郵便番号・ご住所 ③電話番号
④年齢 ⑤「日赤あいち」の入手先 ⑥ご意
見・ご感想など 締切/8月31日必着



日本赤十字社 愛知県支部

日赤あいち

〒461-8561 名古屋市東区白壁1-50 TEL 052-971-1591 (代表)
発行元/日本赤十字社愛知県支部 発行日/平成30年7月1日



活動の詳細や最新情報は
ウェブサイトかツイッターへ

日赤愛知
www.aichi.jrc.or.jp

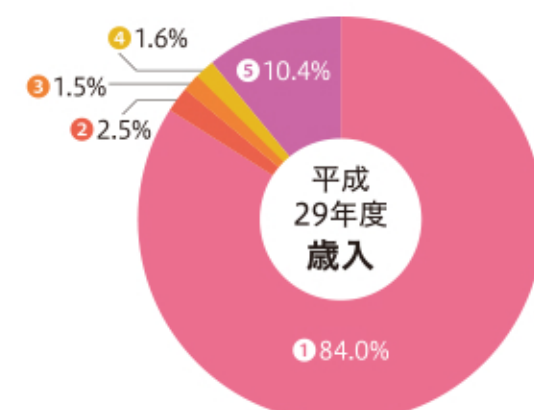
検索



平成29年度 愛知県支部歳入歳出決算概要

平成29年度、愛知県支部では個人・法人の皆さまからいただいた会費(社費)や寄付金を主な財源として、
災害救護をはじめとした人道支援活動を実施いたしました。こうした活動にかかる歳入歳出は以下のとおりです。

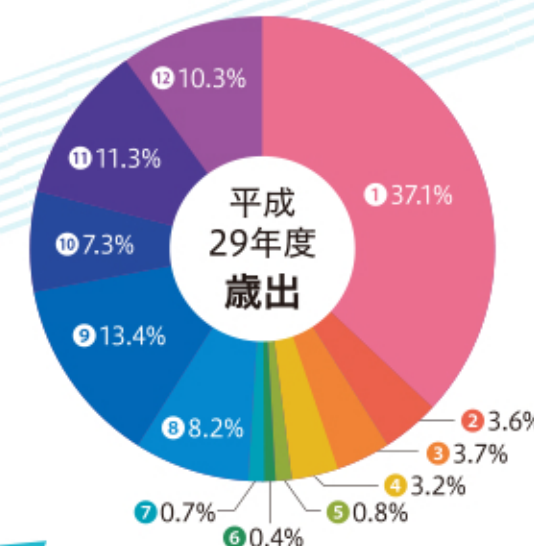
歳入 15億3,604万1千44円



内訳

1 社資収入	12億9,117万2,262円(84.0%)
2 委託金・補助金及び交付金収入	3,821万2,545円(2.5%)
3 資金繰入金	2,231万7千円(1.5%)
4 資産収入・雑収入	2,461万5,782円(1.6%)
5 前年度繰越金	1億5,972万3,455円(10.4%)
計	15億3,604万1,044円(100.0%)

歳出 13億5,431万799円



内訳

1 災害救護事業と救護看護師の養成に	5億1,355万5,320円(37.1%)
2 救急法や健康生活支援講習などの普及に	4,915万3,206円(3.6%)
3 赤十字ボランティアの活動と育成に	5,023万4,034円(3.7%)
4 青少年赤十字の育成と普及に	4,400万3,162円(3.2%)
5 社会福祉事業などに	1,122万6,438円(0.8%)
6 血液事業の普及啓発に	498万8,275円(0.4%)
7 国際的な活動に	961万7,392円(0.7%)
8 広報・活動資金募集のために	1億1,060万7,158円(8.2%)
9 赤十字病院救急医療体制の整備に	1億8,138万1,184円(13.4%)
10 市町村における赤十字活動に	9,943万9,633円(7.3%)
11 全国的な赤十字活動に	1億5,330万7,524円(11.3%)
12 支部の運営に	1億3,899万7,473円(10.3%)
計	13億5,431万799円(100.0%)

※このうち、1億8,173万245円は翌年度以降の継続事業のために繰り越されました

PICK UP



1 災害救護事業・ 救護看護師の養成に

大規模災害や局地的災害への備えとし
て、救護用資機材の整備や訓練・研修を
実施しました



2 救急法や健康生活 支援講習などの普及に

災害時だけでなく、日頃のけがや
事故への備えとして、救急法等各
種講習を実施し、56,536人が受
講しました



3 赤十字ボランティアの 活動と育成に

地域に密着した赤十字活動を展開で
きるよう、奉仕団員から養成された救急法
等講習指導員による講習会を開催。ま
た、多文化共生社会の実現に向け、外国
人対象の講習や外国人救急法指導員に
よる母国語での講習を実施しました



4 青少年赤十字 育成と普及に

子どもたちの健全育成を目的とし、
学校・地域で活動できるリーダー
の育成や国際交流などを実施。ま
た、子どもたちの災害対応力向上
のため、防災教材を活用した防災
教育支援を実施しました

※事業報告の詳細については、日本赤十字社愛知県支部のホームページでご覧いただけます

TOPICS

トピックス

活動やイベントをご報告します

EVENT

「救うことを、つづける。」赤十字運動月間キャンペーンin2018

県内各地で「人道」への理解を深めてもらう活動を実施

毎年5月は赤十字運動月間。今年も県内各地で、赤十字奉仕団によるイベントを開催し、放送各局のご協力による赤十字のテレビ・ラジオCM放送も行いました。4月29日にはハートラちゃん、けん

けつちゃん、赤十字親善大使のグランパスくんが多くの人で賑わう栄にかけつけ、赤十字の活動についてPRを行いました。また赤十字デーである5月8日には「レッドライトアッププロジェクト2018」の一環として、名古屋テレビ塔をライトアップ。名古屋の夜空に赤く浮かび上がる名古屋テレビ塔に注目が集まりました。

さらに今年は新たな企画を実施。レッドライトアップされた名古屋テレビ塔の写真と、ハートラちゃん・けんけつちゃんのぬり絵を募集。送られた作品を、赤十字の事業を紹介するパネルとともに、献血ルームゲートタワー26に展示しました。

左／キャラクターが栄に集まり活動をPR
中／応募いただいたぬり絵には温かいメッセージも
右／恒例となってきたレッドライトアップ



REPORT

名古屋第一赤十字病院「パースセンター5周年記念会」

新しい家族の誕生を支えて5年

「安心・安全・自然・快適」をコンセプトに、産科・小児科医師指導のもと、助産師による分娩が可能な院内の助産院として、2013年名古屋第一赤十字病院にオープンしたパースセンター。5周年を迎える今年、6月9日に記念イベントが開催されました。

イベントには、パースセンターで出産した家族262名が参加。自身の出産を振り返りながら、手作りタイムカプセルや助産師によるダンスなどを楽しみました。

助産師が主導することで妊産婦と家族が一緒になってお産に臨める同センター。今後も、お母さんと赤ちゃんに優しい空間を提供し、新しい家族の誕生を支えていきます。



左／会場はピンク色を基調とした手作りの装飾で彩られ、記念写真を撮るフォトスポットとなりました
右／タイムカプセルを楽しく作りました

REPORT

外国人向けの講習テキストを作成

多文化共生事業の一環

愛知県支部では、防災・減災分野を中心に、国籍にとらわれず誰もが参加でき、ともに安心して暮らせる多文化共生事業を推進しています。同事業の一環として、外国人にも理解しやすい「やさしい日本語」による救急法等の講習テキストを、愛知県立大学と赤十字安全奉仕団の協力のもと作成しました。今後はこのテキストを使いながら、防災・減災の意識向上を図り、多文化共生社会の実現を目指します。



外国人向け講習での理解向上に向けて

動画の視聴方法

- ① 右の二次元コードからフリモARアプリをダウンロードして起動
- ② マークがついた写真にスマホをかざすと、スクリーン後動画が始まります



幼児安全法指導員 中条丞子さん

愛知県赤十字安全奉仕団副委員長。養護教諭として得た知識や経験と、赤十字の救急法指導員の資格を生かして幼児安全法の資格を取得し活動中。



核家族の多い現代。 幼児安全法は地域ぐるみで 子育てを支える一助に

核家族化や少子高齢化に伴い、子育ての不安や悩みを相談できる人が身近に少なくなっています。そんなお父さんやお母さんも、講習を受けて子どもの成長に合わせたケアや病気への対処法を身につけることで、育児への自信をつけてもらえます。

また、すでに子育てを終えた人も講習を受けることで、自分の経験や考えを、自信をもって若い世代に伝えられるでしょうし、地域にそういう大人が一人でも増えることは、地域全体で子育てをすることに繋がります。

赤十字幼児安全法は、そんな仕組みづくりをサポートする役割も担っていると捉え、受講者が地域福祉の担い手となり、子育て支援者として活動できるよう、普及に努めたいと思います。



1・2・3・4／子どもの安全と健康、そして笑顔を守るべく活動を続けています



すぐに実践できる幼児安全法 背部叩打法

のどに異物が詰まった時は一刻も早い手当を！

子どもが物を口に含んでいるときに苦しみ出し、呼吸ができなくなったら、のどに異物が詰まっていると疑ってみることが大切。手当法の一つ「背部叩打法」を紹介します。

乳児の場合

01 あごを支え、頭と頸を保護する。



02

太ももに腕をのせ、頭を下げ、背中の真ん中を手掌基部（手のひらの膨らんだ部分）でたたく。頭をたたかないように指を曲げる。



※異物がとれるまで反復して異物除去の手当を続けます。生体で練習しないでください



日進市赤十字奉仕団 井上勝久委員長

名進市赤十字奉仕団の 幼児安全法講習

古屋学芸大学子どもケアセンターで年に2回、子育て中の

0 9歳の死因の原因で「不慮の事故」が上位を占めているのを存じでしょうか。交通事故や転倒・転落、溺死や窒息といった不慮の事故は、防ぐのはもちろん、いち早く救命処置をすることが重要だとされています。万が一の場合に備えて、正しい事故防止や手当の方法などを学ぶのが赤十字幼児安全法講習。平成29年度には、愛知県内の約8千人が幼児安全法短期講習を受講し、ハンカチやストッキングなど身近なものをを使った応急手当の方法や、乳幼児の心肺蘇生、AEDの使い方などの知識と技術を身につけました。

人に向けた赤十字幼児安全法講習会を実施しているのが日進市赤十字奉仕団です。この講習では、子どもと一緒に参加しやすいよう、奉仕団員による託児を実施。さらに、手当の方法などのポイントをまとめたパネルを作成し、受講者の理解を促す工夫をしています。



日進市赤十字奉仕団による幼児安全法講習会の様子

子どもの死因上位は「不慮の事故」

守りたい！
子どもの尊い命と健康を

大切なわが子、未来を担う子どもたちの安全を守るのは大人の使命。日本赤十字社では、乳幼児期に起こりやすい事故の手当や予防、家庭での看護法などの知識と技術を習得する「赤十字幼児安全法」講習を行っています。

クローズアップ

CLOSE UP



写真が動き出す！
スマホで動画をご覧いただけます！